



「この時代に求められるセヴァ」

～シーターラム夫妻と考える Committee (有志の会合)～

慈善は、適格性を基盤としたものでなければなりません。相手、場所、時を構わず援助をするのはいけません。行動を起こす前に、「誰をどのように助けるのか?」「自分の行動によってどんな成果が得られるのか?」について検討しなければなりません。悪人にナイフを与えたり、子どもに金のカップを与えることはできません。援助には適格さが必要です。適格さを欠いていれば、援助は害に変わります。いつ助けるべきでしょう?誰かが苦しんでいるのを見て、それを心で感じたときです。彼らの痛みを感じ、あなたの心(ハート)が溶けたときに奉仕をなささい。

—サティヤ サイババー

(1995年5月23日布林ダヴァン サマーシャワーP55)

オーム シュリ サイラム

私たちの心を愛で満たし、純粹さを養うために、セヴァは大変有益な活動のひとつとしてスワミより奨励されています。一方で、今年に入ってから、コロナ禍の影響により、巷では心を騒がせるニュースを目にすることが多くなったように思います。

スワミは、どのような状況においても常に良いものに目を向けるように、と仰っておられます。私たちは、この自粛ムードの中で、本来の自分に立ち返り、自分自身のあり方を見直す貴重な機会を頂いているのではないのでしょうか。どのように有益なセヴァができるのか、どうしたらより高みへと至れるのか、を考えることは、靈性修行の進歩には非常に重要です。今回、このような状況においても真摯なセヴァを実践されているシーターラム夫妻をお招きして、共に考え、インスピレーションを獲得する機会を、大阪センターの私たちは幸運にも得ることができました。

風が高く舞い上がる時は追い風の時ではなく、向かい風の時である、と言われていています。この逆境をチャンスに変えて、私たち自身の更なる靈的成長を共に目指していけましたら幸いです。是非多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

日時:2020年10月3日(土) 19:00~21:00

開催方法:オンライン Zoom (※ID, パスワード必要)

※参加希望の方は、大阪Cメールアドレス(osaka@sathyasai.or.jp)までご連絡ください。

※ご参加に際して、「この時代に求められるセヴァ」の案を各自で事前検討の上、ご参加ください。

<プログラム>

- ・オープニング、シーターラム夫妻によるイントロダクション
- ・各自で事前準備した「この時代に求められるセヴァ」の案をシェア
- ・グループワークと具体的なセヴァ案の検討(→目標:スワミの御降誕祭に活動をご報告することを目指す)
- ・全体まとめ、クロージング

オーム シュリ サイラム

(Osaka 2020/09/22 V1)